

JHL NEWS

No.12

2011年2月7日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

湧永が大崎破りプレーオフへ! 女子は北國、ソニーが前進

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第11週～

第35回日本ハンドボールリーグ第11週は2月5、6日に広島などで男子1、女子3試合が行われ、男子は湧永製薬が首位の大崎電気に競り勝って3枚目のプレーオフ切符を獲得、女子は首位の北國銀行、2位のソニーセミコンダクタ九州が勝利を握り、三重バイオレットアイリスも2勝目をマークした。

男子の湧永-大崎戦は前半15分7-4と湧永リードの場面から、大崎はGK浦和の活躍で湧永の攻撃を阻み、猪妻、東長濱らの得点で逆に11-10と先行して前半を折り返した。後半に入り大崎は浦和の好守やクイックスタートからの小澤の速攻などで10分19-15とリード。しかし、湧永もここから粘りを見せ、サイドシュート、ポストシュートなどで得点を重ね、GK志水の奮戦もあって20分23-23の同点とした。これで勢いづいた湧永は新、名嘉の連打で優位に立ち、一進一退の攻防となった終盤も新らが追加点を決め、大崎必死の追撃を振り切り29-27で競り勝った。

長いブレイクが明けた女子は、激しく競り合うライバル同士が火花を散らした。まず広島メイプルレッズ-北國戦は、前半なかばから走力に勝る北國が17分までに10-6と主導権を握った。一方の広島も早川らで食い下がり、前半は17-15と北國2点リードで終了。後半に入ると試合がめまぐるしく動く。広島が早川、植垣の連打で同点に並び、さらに呉のミドルなどで勢いづき、7分21-18とリードを奪った。このあと両チームの激しい主導権争いが続く中、20-23と3点ビハインドの北國が18分のタイムアウト後からスパートをかけ、上町らの4連取で21分24-23と逆転に成功、さらに緊迫感を増した終盤25分過ぎ、北國は中村、樋口で貴重な追加点を奪い、グッと勝利をたぐり寄せた。

ソニー-オムロン戦は、前半22分過ぎまでは一進一退の攻防が続いたが、24分にソニー・長野の退場を機に3点を連取したオムロンが14-11として前半終了。後半に入りソニーは張のカットインで2点差とすると、その直後、オムロン・石立が退場したパワープレーチャンスに黒木、高橋、錦織の3連続速攻が決まり、15-14と逆転に成功した。その後もソニーは飛田の連続セーブに加え、中島がオムロンの7mスローを阻むなどGK陣が活躍。攻めても高橋のサイド、黒木の速攻などで22分22-18とし、24分には24-18と最大6点差をつけた。オムロンは稲葉を投入するなどして追撃したが、3点差とするのが精一杯だった。

HC名古屋-三重は、GK浅井の好セーブとエース伊藤の強打などで前半17分9-5と先行した三重に対し、名古屋も徐々に差を詰め、13-11と三重2点リードで前半をターン。地元の声援に後押しされた名古屋は後半3分過ぎに14-14の同点とした。しかし、三重もここから4連続得点を奪って再び優位に立ち、その後は12得点をマークした伊藤や星野らの活躍で27-20と逃げ切った。

次週は広島などで男子4、女子3試合が行われ、プレーオフ進出へどちらも負けられない女子の広島-オムロン戦や男子の大同特殊鋼-トヨタ車体戦など注目のカードが組まれている。



④大崎電気を破りプレーオフ進出を決めた湧永製薬・新⑤単独首位を守った北國銀行・横嶋

第12週の日程

2月11日(金)	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	13:00~	(女)	広島メイプルレッズ × オムロン	
			15:10~	(男)	湧永製薬 × 北陸電力	
2月12日(土)	石川	金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅車25分)	13:00~	(女)	北國銀行 × HC名古屋	
		愛知	枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~	(男)	豊田合成 × トヨタ紡織九州
		沖縄	沖縄市体育館(沖縄自動車道・沖縄南インター1分)	15:00~	(男)	大同特殊鋼 × トヨタ車体
2月13日(日)	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館(JR予讃線松山駅徒歩10分)	13:30~	(男)	琉球コラソン × 大崎電気	
			13:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × 三重バイオレットアイリス	

◆ 2月5日(土) 女子
愛知・ブラザー工業体育館

三重バイオレットアイリス 27 (13-11) 20 HC名古屋 2勝0分9敗 1勝0分10敗

<1/2>	K	浅井	近藤	K	<0/2>
	2/5	横川	池田	0/3	
	0/1	戎野	伊藤	0/0	
	0/1	石宮	佐藤	0/0	
	4/11	石下	高橋	5/11	
	1/6	石坂	鈴木	4/11	1/2
	1/1	飯田	菅谷	0/4	1/1
<0/1>	K	毛利	阪本	1/2	
	6/8	星野	外本	2/4	
	1/1	小川	高橋	1/1	
4/4	8/17	伊藤	家城	K	<0/2>
	0/0	村尾	秋山	5/8	
			横井	0/1	
			井本	0/0	

◆ 2月5日(土) 女子
広島・中区スポーツセンター

北國銀行 27 (17-15) 24 広島メイプルレッズ 9勝0分2敗 5勝2分4敗

<1/2>	K	寺田	土屋	2/3	
	0/0	若泉	村山	0/1	
1/1	8/13	上町	植垣	2/12	2/3
	6/7	樋口	菅野	0/0	
	0/0	佐久川	早川	8/11	
	0/0	川井	呉成玉	4/9	
	1/1	中村	横田	K	
	6/8	横嶋	安齋	0/2	
	3/7	野路良	伊藤	0/0	
	0/0	翁長	高山	4/5	
<0/1>	K	田代	田口	K	
	0/1	井上	新城	2/3	
	1/2	若松	石原	K	<0/1>
	1/3	屋嘉	青戸	0/0	

男子強化キャンプを実施

男子強化キャンプが1月21～23日まで北陸電力福井体育館フレアで行われた。日本リーグ所属7チームが3日間にわたり練習マッチ(30分ハーフ)を実施。とくに若手選手に実戦経験を積む機会を増やすことにより、選手個々、各チームの全体のレベルアップにつなげるとともに、レフェリーの研修もあわせて行った。また、キャンプ中、とくに活躍の光った若手選手で、再開するリーグ後半戦に注目したい以下の選手にパワーアップ賞が贈られた。〈大同特殊鋼〉熊谷 孟、田中雄大(トヨタ車体)石戸貴章、木切倉真一(湧永製薬)木村雅俊、樋口 陸(トヨタ紡織九州)上田宏紀、藤本 拓(大崎電気)東 佑三、畑山政也(豊田合成)森光勇太、野田祐希(北陸電力)切越巧也、廣瀬騎優

1月21日
大同特殊鋼 13-12 豊田合成
トヨタ紡織九州 17-15 トヨタ車体
トヨタ紡織九州 18-14 豊田合成
トヨタ車体 14-12 大同特殊鋼
大崎電気 28-5 豊田合成

4/4 23/51 4(FPP)1 18/45 2/3
審判(杉山・各務) 観客 426人

1/1 26/42 5(FPP)1 22/46 2/3
審判(大熨・山本) 観客 577人

1月22日
北陸電力 14-14 豊田合成
大崎電気 13-10 大同特殊鋼
豊田合成 16-15 大崎電気
北陸電力 14-10 大同特殊鋼
大崎電気 17-14 トヨタ車体
北陸電力 13-12 湧永製薬
大同特殊鋼 17-14 豊田合成
湧永製薬 19-10 豊田合成
湧永製薬 14-9 トヨタ車体
湧永製薬 12-10 トヨタ紡織九州
トヨタ車体 14-13 北陸電力
トヨタ紡織九州 16-11 豊田合成
湧永製薬 15-14 大同特殊鋼
トヨタ紡織九州 16-12 大崎電気
トヨタ車体 19-13 トヨタ紡織九州
大崎電気 18-12 北陸電力

1月23日
大崎電気 15-8 大同特殊鋼
豊田合成 16-14 北陸電力
大同特殊鋼 15-6 北陸電力
トヨタ車体 12-12 湧永製薬
トヨタ車体 17-12 大崎電気
トヨタ車体 17-8 豊田合成

◆ 2月5日(土) 女子
鹿児島・ソニーセミコンダクタ九州(株)体育館

ソニーセミコンダクタ九州 25 (11-14) 22 オムロン 8勝1分2敗 6勝1分4敗

<1/4>	K	中島	藤間	K	<2/3>
	2/2	郭惠静	城内	2/3	
	1/5	長野	高田	2/5	
0/1	6/9	高橋	卷	0/0	
1/2	3/5	田中	稲葉	1/3	
	0/0	山田	吉田祥	0/0	1/1
	0/0	工藤	藤井	4/10	2/3
	0/0	川崎	石立	2/5	
	4/5	黒木	吉田薫	3/3	
	K	飛田	久野	0/0	
	0/0	石井	永田	1/1	
	0/0	古川	山中	K	
	4/7	錦織	前田	1/2	
	4/10	張素姪	東濱	3/13	

◆ 2月6日(日) 男子
大阪・大阪市立住吉スポーツセンター

湧永製薬 29 (10-11) 27 大崎電気 8勝1分2敗 10勝0分2敗

<0/3>	K	志水	浦和	K	
	2/6	谷村	小澤	6/10	
	2/3	木村	前田	1/1	2/2
	1/1	坂本	豊田	1/2	
	1/3	福田	東長濱	3/8	2/3
	0/0	佐藤	永島	2/2	
	5/8	名嘉	横地	0/1	
	0/1	樋口	森	2/4	
	6/9	新	岩	2/6	
	2/3	今井	夏山	0/0	
<1/2>	K	松村	猪妻	1/1	
	2/7	古家	石川	3/5	
3/4	5/7	東長濱	吉田	K	<1/4>
			宮崎	2/4	

1/3 24/43 11(FPP)11 19/45 3/4
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 527人

3/4 26/48 11(FPP)9 23/44 4/5
審判(佐々木・高原) 観客 2804人

第2回チャレンジ・ディビジョン

第2回チャレンジ・ディビジョンは1月29日に東西両地区ともリーグ戦を終了。東・HC岐阜、西・Hondaが4連勝を飾って1位となった。このあと2月26、27日にトヨタスポーツセンター第1体育館(愛知)に全チームを集め、順位決定戦を行う。

▽東地区・1月15日トヨタ車体吉原体育館
大同大学 29 (14-9) 23トヨタ自動車
HC岐阜 23 (11-10) 21HC春日井

1月29日・トヨタ車体吉原体育館
大同大学 29 (13-16) 27中部大学
HC岐阜 33 (18-10) 23トヨタ自動車

▽西地区・1月29日生駒市市民体育館
HC山口 37 (20-11) 23八光自動車
Honda 29 (15-14) 26HC・MKA

東地区勝敗表

	岐阜	大同大	中部大	春日井	トヨタ	勝	分	敗	勝点	得失点差
① HC岐阜	※	26○22	26○21	23○21	33○23	4	0	0	8	21
② 大同大学	22●26	※	29○27	26○20	29○23	3	0	1	6	10
③ 中部大学	21●26	27●29	※	34○24	34○25	2	0	2	4	12
④ HC春日井	21●23	20●26	24●34	※	25○19	1	0	3	2	-12
⑤ トヨタ自動車	23●33	23●29	25●34	19●25	※	0	0	4	0	-31

西地区勝敗表

	Honda	山口	MKA	八光	徳山	勝	分	敗	勝点	得失点差
① Honda	※	29○24	29○26	34○27	28○21	4	0	0	8	22
② HC山口	24●29	※	37○27	37○23	34○26	3	0	1	6	27
③ HC・MKA	26●29	27●37	※	28○23	27●28	1	0	3	2	-9
④ 八光自動車	27●34	23●37	23●28	※	33○27	1	0	3	2	-20
⑤ 徳山クラブ	21●28	26●34	28○27	27●33	※	1	0	3	2	-20

男女個人ランキング 第11週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気) 72点 (12試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 98点 (11試合)
2 新建 二 (湧永製薬) 67点 (11試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 89点 (11試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成) 67点 (11試合)	3 高橋 恵 (ソニー) 71点 (11試合)
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 65点 (10試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン) 67点 (11試合)
4 東長濱 秀作 (湧永製薬) 65点 (11試合)	5 上町 史織 (北國銀行) 54点 (7試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼) 63点 (11試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ) 48点 (11試合)
7 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 62点 (10試合)	7 横嶋 かおる (北國銀行) 47点 (11試合)
7 東長濱 秀希 (大崎電気) 62点 (12試合)	7 田中 美音子 (ソニー) 47点 (11試合)
9 中島 晋太郎 (豊田合成) 60点 (11試合)	7 呉 成玉 (メイプルレッズ) 47点 (11試合)
10 武田 享 (大同特殊鋼) 59点 (11試合)	10 高栖 由香 (ソニー) 45点 (10試合)
11 小澤 広太 (大崎電気) 57点 (12試合)	11 張 素姫 (ソニー) 42点 (11試合)
12 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 56点 (10試合)	11 東濱 裕子 (オムロン) 42点 (11試合)
12 野田 祐希 (豊田合成) 56点 (11試合)	11 鈴木 身江子 (HC名古屋) 42点 (11試合)
14 門山 哲也 (トヨタ車体) 54点 (10試合)	14 樋口 真央 (北國銀行) 41点 (6試合)
15 村山 裕次 (琉球コラソン) 53点 (11試合)	15 高田 裕梨 (オムロン) 40点 (11試合)

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気) 72点 (12試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 72点 (11試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成) 67点 (11試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 58点 (11試合)
3 新建 二 (湧永製薬) 66点 (11試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン) 50点 (11試合)
4 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 61点 (10試合)	4 新城 明奈 (メイプルレッズ) 48点 (11試合)
5 中島 晋太郎 (豊田合成) 60点 (11試合)	4 高橋 恵 (ソニー) 48点 (11試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼) 59点 (11試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行) 47点 (11試合)
6 武田 享 (大同特殊鋼) 59点 (11試合)	6 呉 成玉 (メイプルレッズ) 47点 (11試合)
8 小澤 広太 (大崎電気) 57点 (12試合)	8 田中 美音子 (ソニー) 45点 (11試合)
9 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 56点 (10試合)	9 高栖 由香 (ソニー) 44点 (10試合)
9 東長濱 秀作 (湧永製薬) 56点 (11試合)	10 東濱 裕子 (オムロン) 42点 (11試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 新建 二 (湧永製薬) 66点/93射 0.710	1 高栖 由香 (ソニー) 44点/55射 0.800
2 小澤 広太 (大崎電気) 57点/82射 0.695	2 新城 明奈 (メイプルレッズ) 48点/65射 0.738
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 56点/85射 0.659	3 高橋 恵 (ソニー) 48点/70射 0.686
4 宮崎 大輔 (大崎電気) 72点/123射 0.585	4 横嶋 かおる (北國銀行) 47点/75射 0.627
5 今村 彰伸 (豊田合成) 67点/116射 0.578	5 田中 美音子 (ソニー) 45点/81射 0.556
6 末松 誠 (大同特殊鋼) 59点/105射 0.562	6 藤井 紫緒 (オムロン) 50点/108射 0.463
7 武田 享 (大同特殊鋼) 59点/107射 0.551	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 72点/158射 0.456
8 東長濱 秀作 (湧永製薬) 56点/103射 0.544	8 呉 成玉 (メイプルレッズ) 47点/107射 0.439
9 中島 晋太郎 (豊田合成) 60点/116射 0.517	9 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 58点/137射 0.423
10 呉 相民 (トヨタ紡織九州) 61点/121射 0.504	10 東濱 裕子 (オムロン) 42点/109射 0.385

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成) 17点 (11試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 31点 (11試合)
1 東長濱 秀希 (大崎電気) 17点 (12試合)	2 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 26点 (11試合)
3 桜井 渉 (北陸電力) 16点 (11試合)	3 高橋 恵 (ソニー) 23点 (11試合)
4 村山 裕次 (琉球コラソン) 14点 (11試合)	4 上町 史織 (北國銀行) 19点 (7試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 10点 (10試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン) 17点 (11試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン) 6本/15射 0.400	1 藤間 かおり (オムロン) 14本/32射 0.438
2 吉田 耕平 (大崎電気) 6本/16射 0.375	2 中島 亜樹 (ソニー) 13本/35射 0.371
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体) 4本/14射 0.286	3 浅井 友可里 (バイオレットアイリス) 7本/21射 0.333
4 志水 孝行 (湧永製薬) 4本/15射 0.267	4 堂面 妙子 (メイプルレッズ) 7本/25射 0.280
5 藤堂 聖二 (豊田合成) 3本/13射 0.231	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス) 5本/18射 0.278
5 石田 孝一 (琉球コラソン) 3本/13射 0.231	

選手・スタッフ登録情報

〈湧永製薬〉

No. 14	仁平 昌利	1988.09.03	187 cm 89kg	右	鹿骨中→法政二高→早稲田大	※2月5日から出場可能
No. 8	小賀野龍也	1988.04.05	192 cm 90kg	左	富岡中→富岡高→中央大	※2月11日から出場可能
No. 18	中浦 成崇	1988.05.23	183 cm 77kg	右	培良中→洛北高→大阪体育大	※2月11日から出場可能

〈大同特殊鋼〉

No. 24	久保 侑生	1988.05.24	186 cm 76 kg	右	明野北小→明野中→大分国際情報高→筑波大	※2月11日から出場可能
--------	-------	------------	--------------	---	----------------------	--------------

〈ソニーセミコンダクタ九州〉

オーナー	山口 和久 (※登録抹消・相馬 得郎)	※2月5日から出場可能
------	---------------------	-------------

試合時間変更

2月11日(金) 広島大会 (変更前) 15:00~湧永製薬 vs 北陸電力 → (変更後) 15:10~湧永製薬 vs 北陸電力

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第11週終了 2月6日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	北陸電力	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	12	10	0	2	20	418	359	59
2	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	○	○	○	11	9	0	2	18	306	276	30
3	湧永製薬	●	○	○	△	○	○	○	○	11	8	1	2	17	316	265	51
4	トヨタ紡織九州	●	●	△	○	△	○	○	○	10	5	2	3	12	319	291	28
5	トヨタ車体	●	○	●	●	△	○	○	○	11	5	1	5	11	325	300	25
6	琉球コラソン	●	●	●	●	●	●	△	○	11	2	1	8	5	272	344	-72
7	北陸電力	●	●	●	●	●	△	○	●	11	1	1	9	3	259	329	-70
8	豊田合成	●	●	●	●	●	●	●	○	11	1	0	10	2	310	361	-51

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	オムロン	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	11	9	0	2	18	282	232	50
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	○	△	○	○	11	8	1	2	17	327	258	69
3	オムロン	●	○	○	△	●	○	11	6	1	4	13	288	220	68
4	広島メイプルレッズ	●	●	△	○	○	○	11	5	2	4	12	319	265	54
5	三重バイオレットアリス	●	●	●	●	●	○	11	2	0	9	4	254	331	-77
6	HC名古屋	●	●	●	●	●	○	11	1	0	10	2	186	350	-164

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。